

理事長挨拶

はじめに、総会の開催につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止、並びに会員皆様の安全を最優先とさせていただき、書面開催とすることにいたしました。御理解をお願い申し上げます。

昨年の令和3年8月豪雨では、8月13日からの大雨により県の中部・南部を中心に多くの土砂災害が発生し、大きな被害に見舞われました。犠牲になられた皆様に、ご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

本協会では、集中豪雨に遭われた諏訪地域で、台風シーズンを迎えるにあたり砂防堰堤の堆積状況等を点検し、台風による豪雨の際の警戒避難に資することを目的として34渓流54箇所での砂防堰堤の緊急点検を実施しました。出動いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

令和元年NPO法人となり、県からの委託を受け「赤牛先生」防災教育に、重点的に取り組み3年目となりました。昨年6月5日の阿南町での開催を皮切りに令和3年度防災教育講座を当初78回の開催予定で始めましたが、8月・12月と長野県下でも新型コロナ感染者数の増加が顕著となり、こうしたコロナ禍の状況下で、講座の中止や開催を控える自治体が増え予定回数での開催数をこなすことが困難となりました。

最終的に令和3年度実績は計26回、参加者総数865名となりました。本年度は昨年中止、延期分を含め引き続き、県と連携し「赤牛先生」を事業の柱とし、災害による犠牲者ゼロに向けた取組を一層推進してまいります。

また、(一財)砂防フロンティア整備推進機構における木村基金助成金を活用した、小学生向けの防災教育マニュアルの作成を砂防フロンティア整備推進機構から受託し、全国で砂防教育に取り組んでいる団体等を対象として、その実態を調査、整理し事例集のとりまとめを行ないました。今年度も引き続き砂防教育支援の推進を図る取り組みでマニュアル作成を行なう予定でありますので会員各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

砂防施設の維持活動や施設点検等についても、会員の皆様のご協力により進めております。

新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベル2ということもあって6月の土砂災害防止月間に伴う危険箇所点検等は、県内16事務所から派遣要請があり延べ50名の会員の参加を予定しております。

新型コロナウイルスの感染は、なかなか終息いたしません、このような厳しい環境のもと、皆様のお知恵をお借りしながら、県民の安全・安心の確保に向け、取り組んでまいりたいと考えております。

会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

令和4年6月17日

特定非営利活動法人 長野県砂防ボランティア協会

理事長 内山 壽長